

コード No. 18951

**Anti-Mouse/Rat
Flotillin-1 (C) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

はじめに : ラフトはスフィンゴ糖脂質とコレステロールに富み、タンパク質のソーティングに参与する膜ドメインとして提唱され、多くのシグナル伝達分子が会合していることが知られています。ラフトは細胞膜上を絶えず動き、形も大きさも絶えず変化するため実体が捉えにくく、もうひとつの膜のマイクロドメインであるカベオラとは異なり、形態的に区別することは困難です。このため、ラフトを同定するためにはラフト特有のマーカが必要でした。Flotillin はラフトの構成成分であり、ラフトのマーカとしての可能性が示唆されています。

免疫抗原 : Mouse, Rat Flotillin-1 共通部分の C 端部分合成ペプチド (SQVNHNKPLRTA)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA、0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色 約 2 µg/mL にて使用可能

使用方法 ホルマリン固定・パラフィン包埋切片、マイクロウェーブ処理 (10 mM クエン酸緩衝液 pH 6.0, 10 分間)

: ウェスタン・ブロッティング 約 2 µg/mL にて使用可能

特異性 : マウス、ラットおよびヒトの Flotillin-1 と反応
(ウェスタン・ブロッティングおよび免疫組織染色にて確認)